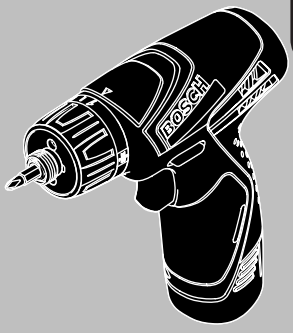
取扱説明書



バッテリー
ドライバードリル
GSR 10.8V-LI 型

このたびは、弊社バッテリードライバードリルをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

BOSCH

目　次

安全上のご注意

警告表示の区分 2
電動工具全般についての注意事項 2
ドライバードリルについての注意事項 8

リサイクルのために

電動工具本体の回収にご協力ください 11
リチウムイオンバッテリーの回収にご協力ください . .11

本製品について

用　途 12
各部の名称 12
仕　様 13
標準付属品 14

使い方

バッテリーを準備する 15
作業前の準備をする 17
作業する 18

困ったときは

故障かな？と思ったら 23
修理を依頼するときは 24

お手入れと保管

クリーニング 25
保　管 25

安全上のご注意

◆火災、感電、けがなど事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
◆ご使用前に、この『安全上のご注意』をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
◆お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
◆他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は 警告 と 注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

⚠警告

◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意

◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具全般についての注意事項

ここでは、バッテリー工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいたバッテリードライバードリルには、当てはまらない項目も含まれています。

⚠ 警　告

1. 専用の充電器やバッテリーを使用してください。

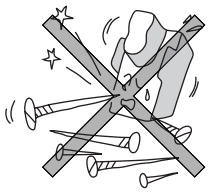
- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。
- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。

2. 正しく充電してください。

- ◆ この充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
- ◆ 温度が0℃未満、又は温度が40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。
- ◆ 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

3. バッテリーの端子間を短絡させないでください。

- ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。



4. 感電に注意してください。

- ◆ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

5. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ バッテリー工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。

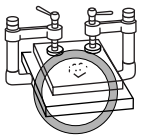
6. 保護めがねを使用してください。

- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉塵の多い作業では、防じんマスクを併用してください。

7. 防音保護具を着用してください。

◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

8. 加工するものをしっかりと固定してください。



◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手でバッテリー工具を使用できます。

9. 次の場合は、バッテリー工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。

◆ 使用しない、又は修理する場合。
◆ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
◆ その他危険が予想される場合。

10. 不意な始動は避けてください。

◆ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
◆ バッテリーをさし込む前にスイッチが切れていることを確認してください。

11. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

◆ この取扱説明書、及びボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

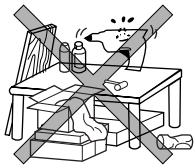
12. バッテリーを火中に投入しないでください。

13. バッテリーの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

14. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

⚠ 注　意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。



◆ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

2. 子供を近づけないでください。

◆ 作業者以外、バッテリー工具や充電器のコードに触れさせないでください。

◆ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は鍵のかかる所に保管してください。

◆ バッテリー工具やバッテリーを、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。

4. 無理して使用しないでください。

◆ 安全に能率よく作業するために、バッテリー工具の能力に合った速さで作業してください。

◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

5. 作業に合ったバッテリー工具を使用してください。

◆ 小形のバッテリー工具やアタッチメントは、大形のバッテリー工具で行う作業には使用しないでください。

◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

6. きちんとした服装で作業してください。

◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。

◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

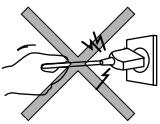
◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7. バッテリー工具は、注意深く手入れをしてください。

◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
◆ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
◆ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、又はボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

◆ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。



9. 無理な姿勢で作業をしないでください。

◆ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

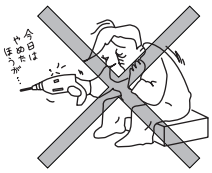
10. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。

◆ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。

11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

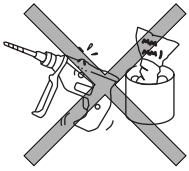
◆ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。



- ◆ バッテリー工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。

13. 損傷した部品がないか点検してください。



- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、及び締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ◆ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
  取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、又はボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ スイッチで始動、及び停止操作の出来ないバッテリー工具は、使用しないでください。

14. バッテリー工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ◆ サービスマン以外の人はバッテリー工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ バッテリー工具が熱くなったり、異常に気付いた時は、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、又はボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

ドライバードリルについての注意事項

バッテリー工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、ドライバードリルをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

⚠ 警　告

1. 使用するバッテリーは、取扱説明書に指定してあるものを装着してください。

◆ 指定外のバッテリーを装着すると、ドライバードリル本体に支障をきたすばかりでなく、発煙・発火の原因になります。

2. 作業する箇所に、電線管や水道管、ガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。

◆ 埋設物があると、先端工具が触れたときに感電したり、漏電やガス漏れが発生したりして、事故の原因になります。

3. 使用中に振り回されないよう、ドライバードリル本体を確実に保持して作業してください。

◆ 確実に保持しないと、けがの原因になります。

4. 使用中は、先端工具や回転部、切り粉などの排出部に、手や顔などを近づけないでください。

◆ けがの原因になります。

5. フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、ドライバードリル本体が冷めるための時間を設けてください。

◆ 複数個による連続作業は、本体に支障をきたすばかりでなく、本体の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。

6. 取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業に使用しないでください。
特にモーターをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。

◆ 発煙・発火の原因になります。

7. 使用中にドライバードリルの調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちに「電子無段変速スイッチ」を切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店または弊社修理認定工場に点検・修理を依頼してください。

◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

8. 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、先端工具やドライバードリル本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

9. 石綿は、人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。

⚠ 注　意

1. 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

◆ 確実でないと外れたりし、けがの原因になります。

2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。

◆ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

3. **作業直後の先端工具や切り粉などは高温になっていますので、触れないでください。**
   ◆ やけどの原因になります。

4. **高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。**
   ◆ 材料やドライバードリル本体などを落としたとき、事故の原因になります。

5. **細径のビットは折れやすいので注意してください。**
   ◆ 飛散して、けがの原因になります。

6. **回転させたまま、台や床などに放置しないでください。**
   ◆ 事故の原因になります。

7. **安全のため、ヘルメットおよび安全靴、騒音からの保護のため、耳栓をしてください。**

リサイクルのために

電動工具本体の回収にご協力ください

弊社では、不要になった電動工具本体のリサイクル活動を推進しています。不要になった電動工具本体を処分するときは、お買い求めになった弊社電動工具取扱販売店にご相談ください。
資源保護・環境保護のため、弊社の推進するリサイクル活動にぜひご協力くださいますよう、お願い申しあげます。
電動工具本体の回収・リサイクルは、弊社の製品に限らせていただきます。

リチウムイオンバッテリーの回収にご協力ください

この電動工具は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。
ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、電動工具本体から取り外し、お買い求めになった弊社電動工具取扱販売店へお持ちください。ショート防止のため、バッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出しください。

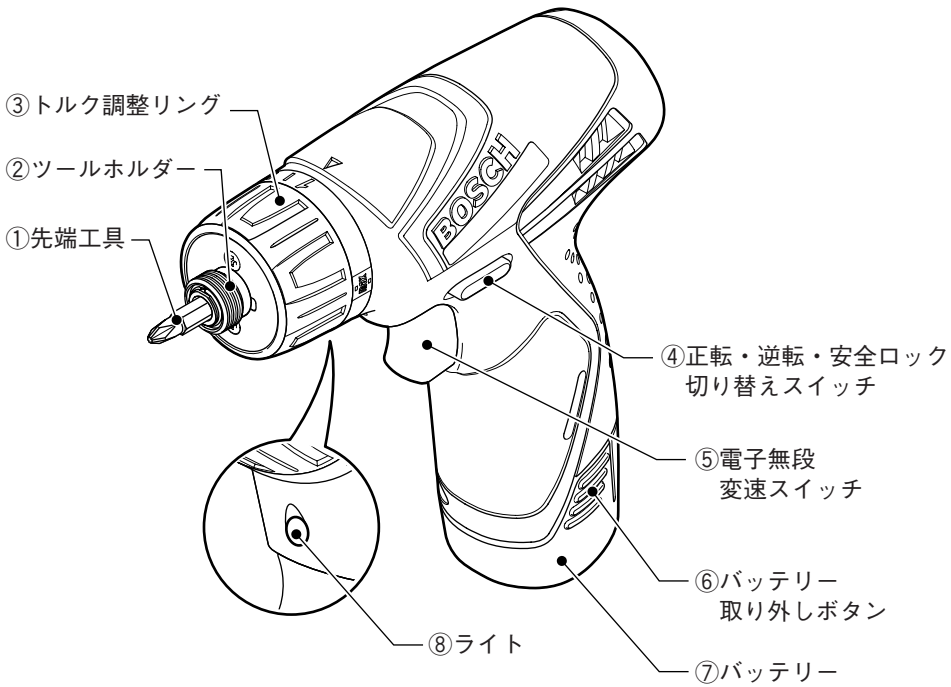
本製品について

用　途

◆ 木材、金属、プラスチックなどの穴あけ

◆ ネジの締め・緩め

各部の名称



◆このイラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕　様

本　体

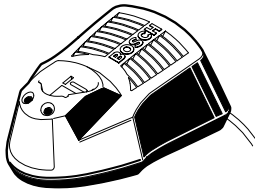
型　番	GSR 10.8V-LI
定格電圧	DC10.8V
ネジ締め（最大径）	6 mmφ×60 mm（木ネジ）
穴あけ能力（最大径）	
鉄　工	6 mmφ
木　工	18 mmφ
無負荷回転数	0〜400 min^{-1}（回転/分）
トルク調整範囲	2〜6 N・m
最大トルク	7/18 N・m
質　量	0.8 kg

バッテリー

品　番	2 607 336 026
電　圧	10.8 V
容　量	1.3 Ah

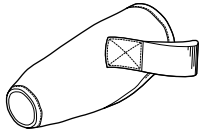
標準付属品

リチウムイオンバッテリー
1.3Ah（2個）
品番：2 607 336 026



充電器
品番：AL1130CV

キャリングバック
品番：6 035 701 690



ベルトホルダー
（キャリングバック内に付属）

使い方

⚠注意

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「正転・逆転・安全ロックの切り替えスイッチ④」が安全ロックの位置（中央）になっていることを確認してください。

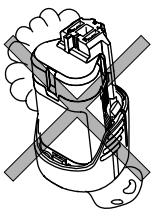
バッテリーを準備する

取り外す

「バッテリー取り外しボタン⑥」を両側から押しながら、バッテリー⑦を抜き取ります。

点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか?
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか?

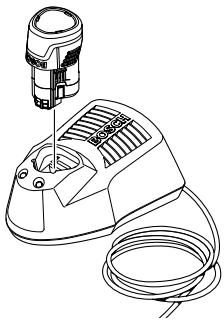


充電する

⚠警告

- ◆ 破損防止のため、弊社指定の充電器を使って、バッテリーを充電してください。
- ◆ バッテリーが熱くなっているときは、冷えてから充電してください。

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
2. 充電器にバッテリー⑦を差し込んで、充電を始めます。(『充電器の取扱説明書』参照)
3. 充電が終わったら、充電器の電源プラグを電源コンセントから抜きます。



先端工具を取り付ける・取り外す

⚠警告

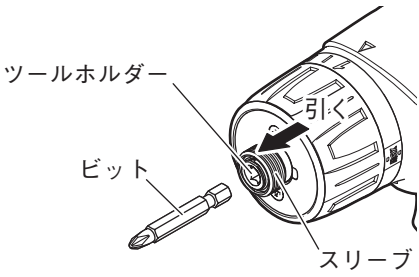
◆ けがの発生を防ぐため、先端工具を取り付けたり取り外したりするときは、バッテリーをドライバードリル本体から取り外してください。

⚠注意

◆ 先端工具を取り付けたり取り外したりするときは、手など身体を傷つけないように十分注意してください。

取り付け

1. スリーブをバッテリードライバードリル本体と逆側に引きながら、先端工具をツールホルダーに差し込みます。



2. スリーブから指を離します。

3. 先端工具を軽く引っ張り、抜けないことを確認します。

取り外し

スリーブをバッテリードライバードリル本体と逆側に引きながら、先端工具を引き抜きます。

⚠警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリーを取り付ける前に、「正転･逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」が安全ロックの位置（中央）に切り替えてください。

ドリルとして使用する

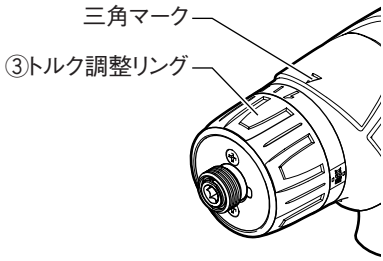
1 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」を確認する

「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」が安全ロックの位置（中央）になっているか確認してください。なっていない場合は、安全ロックの位置（中央）にしてください。

2 「トルク調整リング③」を切り替える

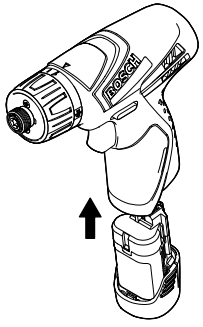
三角マークに「トルク調整リング③」の max マークを合わせてください。

☞ 数字やマークの中間部分では使用しないでください。故障の原因になります。



3 ドライバードリル本体にバッテリー⑦を取り付ける

バッテリー⑦を、ドライバードリル本体グリップのバッテリー差し込み口に、カチッと音がするまで押し込みます。



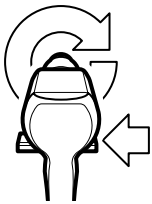
⚠注意

◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

4 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」を切り替える

⚠警告

◆ 本体の損傷を防ぐため、回転が止まった状態で、「正転･逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」を切り替えてください。「電子無段変速スイッチ⑤」を引き込んでいるとき、「正転･逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」は切り替えないでください。



正転 「正転･逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」の右側（本体を後ろから見て）を押し込む

☞「正転･逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」を中間の位置で固定すると、安全ロックが働き、不用意に「電子無段変速スイッチ⑤」を作動させるのを防ぎます。

5 「電子無段変速スイッチ⑤」を操作する

⚠警告

◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。

◆ 低回転での長時間の作業はしないでください。
低回転で作業する場合は、数分間ごとに無負荷状態で最高回転で回し、機体を冷却してください。連続作業の際は、必ずスイッチをいっぱいに引き、最高回転で使用してください。

1. 先端工具を材料に当てます。

2.「電子無段変速スイッチ⑤」を引き込みます。

☞「電子無段変速スイッチ⑤」を引き込む加減で、回転数が調節できます。
☞ 止めるときは、「電子無段変速スイッチ⑤」から指を離してください。

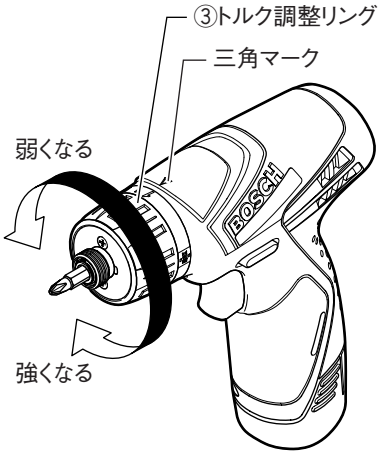
ドライバーとして使用する

① 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」を確認する

「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」が安全ロックの位置（中央）になっているか確認してください。なっていない場合は、安全ロックの位置（中央）にしてください。

② 「トルク調整リング③」で締め付けトルクを調整する

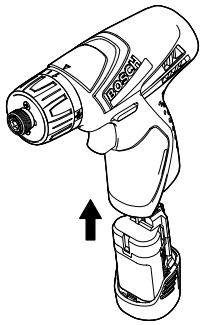
最適トルクになるように、三角マークに「トルク調整リング③」の数字（1,3,5…,10）を合わせてください。
「トルク調整リング③」の数字が大きくなると、締め付けトルクが大きくなります。
本機は、10段階のトルク調節が可能で、設定したトルクに達した時点で自動的に作動を停止します。これにより、すべてのネジを均一なトルクで締め付けることができます。



- ☞ 低いトルクから順に高いトルクに設定してゆくと、最適トルクを設定することができます。
- ☞ ネジ径に応じた締め付けトルクに設定してください。強過ぎるとネジが切れたり、ネジ頭を傷めます。
- ☞ 数字の中間部分では使用しないでください。故障の原因になります。

3 ドライバードリル本体にバッテリーを取り付ける

バッテリーを、ドライバードリル本体グリップのバッテリー差し込み口に、カチッと音がするまで押し込みます。



⚠注意

◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

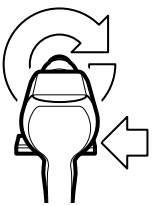
4 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」を切り替える

⚠警告

◆ 本体の損傷を防ぐため、回転が止まった状態で、「正転･逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」を切り替えてください。「電子無段変速スイッチ⑤」を引き込んでいるとき、「正転･逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」は切り替えないでください。

使い方

締め



正転「正転･逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」の右側（本体を後ろから見て）を押し込む

緩め

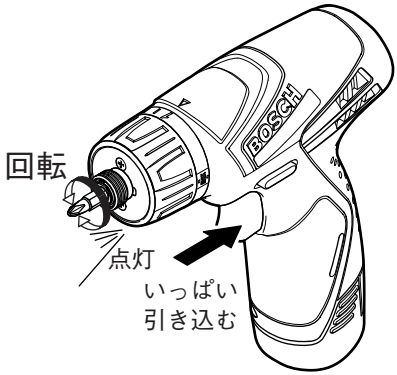
逆転「正転･逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」の左側（本体を後ろから見て）を押し込む

☞「正転･逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」を中間の位置で固定すると、安全ロックが働き、不用意に「電子無段変速スイッチ⑤」を作動させるのを防ぎます。

5 ライト⑧を点灯させる

「電子無段変速スイッチ⑤」を軽く引き込むと、ライト⑧が点灯します。
（このときツールホルダー②は回転しません。）
暗い場所でネジ締め作業をする場合は、作業前に一度ライトを点灯させると、ネジ締め位置が確認できて便利です。

☞「電子無段変速スイッチ⑤」をいっぱい引き込むと、ライトが点灯し、ツールホルダーが回転します。



6 「電子無段変速スイッチ⑤」を操作する

⚠警告

- ◆ 作業直後の先端工具は高温になります。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。
- ◆ 低回転での長時間の作業はしないでください。
  低回転で作業する場合は、数分間ごとに無負荷状態で最高回転で回し、機体を冷却してください。連続作業の際は、必ずスイッチをいっぱいに引き、最高回転で使用してください。

1. 先端工具を材料に当てます。

2.「電子無段変速スイッチ⑤」を引き込みます。

☞「電子無段変速スイッチ⑤」を引き込む加減で、回転数が調節できます。

困ったときは

故障かな？と思ったら

① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直します。
③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症　状	原　因	対　処
「電子無段変速スイッチ⑤」を引き込んでも、回らない	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電するか、交換する
「電子無段変速スイッチ⑤」が引き込めない	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」が“安全ロック”または、中途半端な位置になっている	“正転”か“逆転”の位置にしっかりと切り替える
穴あけなどに時間がかかる（穴があかない）	先端工具が摩耗している	先端工具を研磨するか、交換する
	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電するか、交換する
	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」が“逆転”の位置になっている	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ④」を“正転”の位置に切り替える
	「電子無段変速スイッチ⑤」を完全に引き込んでいないために回転数が低い	「電子無段変速スイッチ⑤」をいっぱいまで引き込む
充電しても、フル充電しない。または、フル充電しても、使用時間が短い	バッテリーの寿命が尽きた	バッテリーを交換する

修理を依頼するときは

◆『故障かな？と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。

◆修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
または、弊社ホームページでご案内しています修理認定工場から最寄りの修理認定工場をお選びいただくか、ボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。

◆この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーダイヤル 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前 9：00～午後 6：00

＊電話番号が03および04で始まる地域のお客様、および携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ　http://www.bosch.co.jp

ボッシュ電動工具サービスセンター北海道

〒003-0873　北海道札幌市白石区米里3条2-6-33
TEL 011-875-2388　FAX 011-879-2138

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県大里郡江南町大字千代字東原39
ゼクセルロジテック内
TEL 048-536-7171　FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104　福岡県糟屋郡親宮町的野741-1
TEL 092-963-3486　FAX 092-963-3407

お手入れと保管

⚠警告

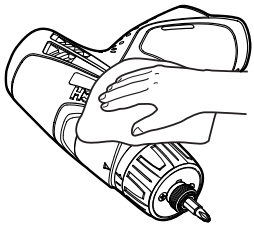
◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリーをドライバードリル本体から取り外し、お手入れしてください。

クリーニング

通風口やスリーブなどに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす

乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

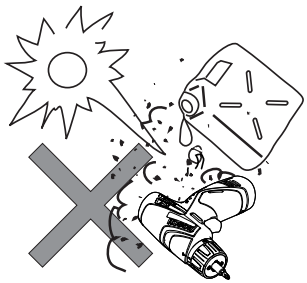
☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



保　管

ドライバードリルを使った後は、バッテリーを取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、バッテリーは50℃以上になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープをはってください。



MEMO

MEMO

MEMO

● 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
● 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
● 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

BOSCH

ボッシュ株式会社　電動工具事業部

ホームページ：http://www.bosch.co.jp

〒150-8360　東京都渋谷区渋谷3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

0120-345-762

（土・日・祝日を除く、午前 9：00～午後 6：00）

＊電話番号が03および04で始まる地域のお客様、および携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

EMA-GSR10.8V-LI

2 609 932 448 (05.08)

取扱説明書 お詫びと訂正・追記

このたびはボッシュ バッテリードライバードリル GSR10.8V-LI 型をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
誠に申し訳ございませんが、取扱説明書の一部に誤りおよび追記がございましたので、お詫びとともに下記のとおり訂正させていただきます。

＜訂正個所＞

3 ページ

⚠ 警 告

2. 正しく充電してください。

◆ 温度が 0 ℃未満、または温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。

↓

◆ 温度が 0 ℃未満、または温度が 45℃以上ではバッテリーを充電しないでください。

13 ページ

仕 様

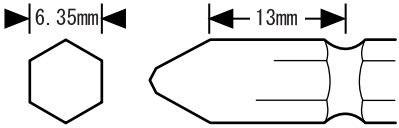
最大トルク　7/18 N・m → 18 N・m

＜追記個所＞

1. ＥＣＰ機能（電子セル保護システム）について
   本機にはＥＣＰ機能がついております。
   本体が過負荷になった場合やバッテリーが過放電または高温になった場合には、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。
   上記状態が解消されると、再始動することができます。

2. 使用可能ビットについて

   六角軸（六角対辺 6.35㎜、軸位置 13㎜）



3. ベルトホルダーについて
   本付属品は収納および簡易携帯用です。作業内容、状況によっては脱落の恐れがありますので、高所作業時にはご使用にならないでください。ベルト装着時は、マジックテープを上下ずれのないように、しっかりと押さえて装着させてください。
   ほつれや破れなどの破損、変形、劣化を発見した場合には、直ちに使用を中止してください。